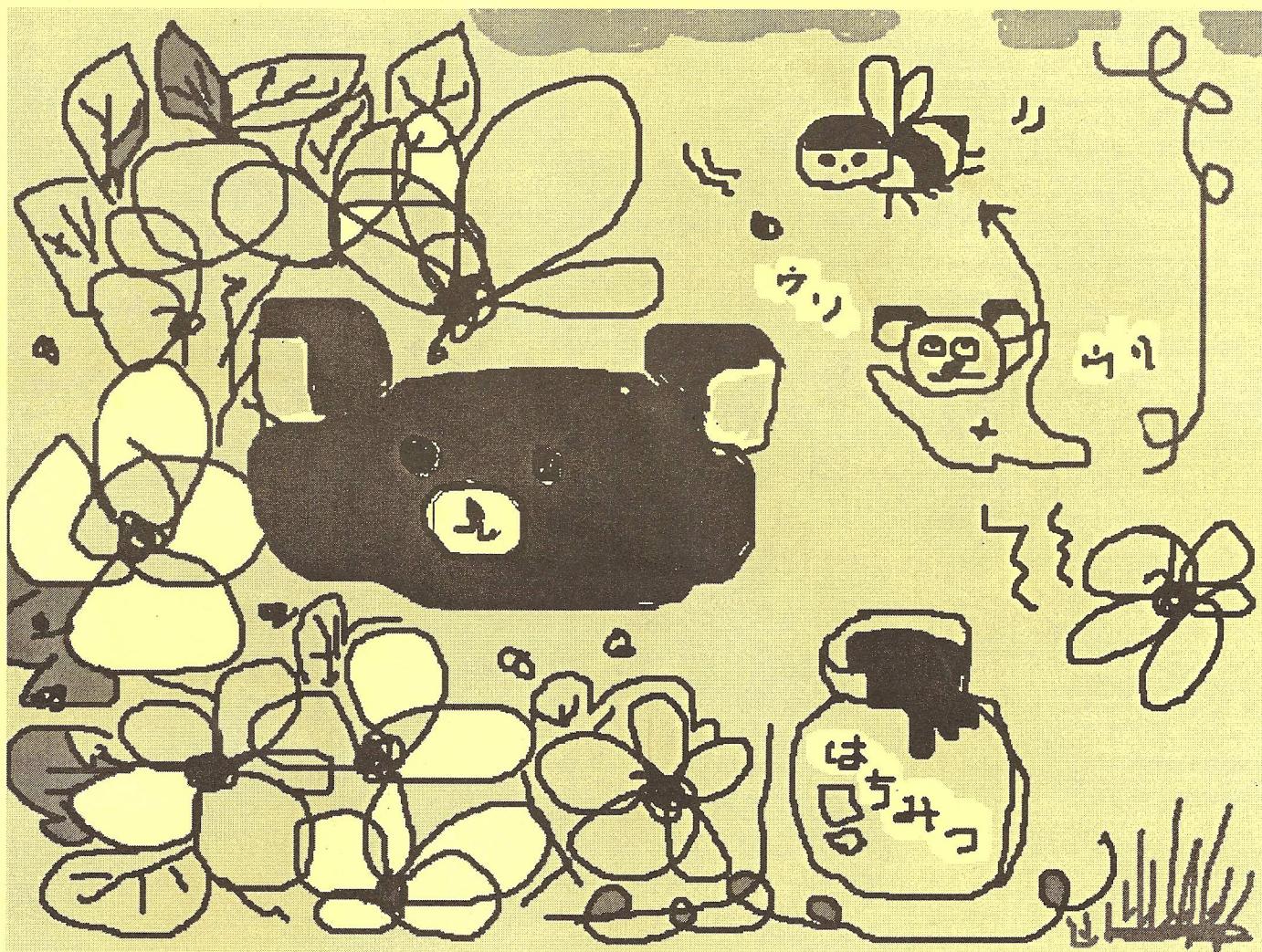


志太マンドリン・ギターアンサンブル

第24回

定期演奏会



表紙 A・M

2011年12月11日(日)

大井川ミュージコ

開場/13:30 開演/14:00

[主催] 志太マンドリン・ギターアンサンブ

<http://shidaman.music.coocan.jp/>

[後援] 藤枝市教育委員会・焼津市教育委員会

静岡新聞社・静岡放送

プログラム

第一部

マンドリンオリジナル

- ♪ ユーラシアン狂詩曲 ラプソディー 湯浅 隆

♪ エンジェルコーラス 藤掛 廣幸

♪ ファンタジア九州 藤掛 廣幸

* * * * * 休憩 * * * * *

第二部

ヨーロッパ周遊特集

- ♪ ミスター・ロンリー
 - ♪ ローレライ
 - ♪ オー・ソレ・ミオ
 - ♪ ロンドンデリーの歌
 - ♪ ホフマンの舟歌
 - ♪ モルダウ

♪ シャンソンメドレー
　　パリの空の下—枯葉
　　ラ・メール—愛の譜歌

クリスマス特集

- ♪ バブリークリスマスマドレー
クリスマス・イブ～クリスマスキャロルの頃には
サイレント・イブ～恋人がサンタクロース

ごあいさつ

志太マンドリン・ギターアンサンブル部長 鈴木雅雄

本日は、お忙しい中、第24回定期演奏会にご来場下さいまして誠にありがとうございます。我々にとって『定期演奏会』は、一年間を通した活動の集大成であります。

練習は、各自仕事の合間を縫っての参加です。共有できる時間は限られており、時には厳しいと思った事もありましたが、全員が音楽好きで、合奏好きで、そして何よりもこのクラブが大好きで、何とか今年もこの日を迎える事が出来ました。

今年3月、今後我々日本人にとって忘れられない・忘れてはならない東日本大震災という大規模な災害が発生しました。

こういう時だからこそ、クラブ全員の心をひとつにして練習に励んでまいりまし。

本日は、未熟ではありますが、心をこめた演奏をしたいと思います。どうぞ、最後までごゆっくりお聴きください。

曲目解説

ラブソディー

【ユーラシアン狂詩曲】

日本とポルトガルの間に横たわる広大なユーラシア大陸に思いを馳せた曲。

ポルトガルギターとマンドリュートのデュオで演奏する原曲は、2001年テレビ朝日系ドラマ「長崎ぶらぶら節」のテーマ曲に採用された。

本曲は、マンドリンの世界でも活躍する作曲家酒井国作氏による編曲。

【エンジェルコーラス】

この曲は、宇宙の空間から美しい天使の歌声がきこえてくる・・・というイメージで作曲しました。

だれでも演奏しやすいように、曲はハ長調の7つの音のみで、作曲されており、#も♭も一つも使われていません。

美しい天使達の歌声を、お楽しみ下さい。

【ファンタジア九州】

この曲は、福岡マンドリンオーケストラからの『九州にちなんだ曲を・・・』という依頼によって作曲されました。

私の大好きな「五木の子守唄」と「ひえつき節」、という二つの九州民謡をテーマにして
ヴァリエーションや交響的な手法を使いながらも自由な幻想を羽ばたかせて出来上がった
のがこの曲です。

(藤掛氏より)

楽譜は元々、完全なものではありません。あくまでも一つの素材です。

ただ単に楽譜の通りに音を出しただけでは感動は生まれて来ません。

楽譜にダウンの印が付いていても、「ピッキングで弾きたいな！」と感じたらその気持ちを最も大切にするという姿勢で取り組んでみて下さい。

【ミスター・ロンリー】

午前零時…懐かしいあの頃へ「夜間飛行」。遠い地平線が消えて、ふかぶかとした夜の間に心を休める時…FMラジオ番組「JET STREAM」のBGMに使われ有名となった。1964年に全米チャート1位を獲得したボビー・ピントンの代表作。

【ローレライ】

1824年『帰郷』と題す詩集の2番目にのせられている「Ich weiss nicht was soll es bedeuten (何がそうさせるのかはわからないが)」で始まる詩は、1827年に『歌の本』におさめられ、フリードリヒ・フィリップ・ジルヒャー(ジルヘル)が、1838年に合唱曲として曲をつけて以来、世界的に有名な歌となりました。ドイツ歌曲。

【オー・ソレ・ミオ】

“私の太陽” イタリアのカンツオーネ、ナポリ民謡。

【ロンドンデリーの歌】

世界で最も広く親しまれるアイルランド民謡の一つ、様々な歌詞によって歌われ特に「ダニー・ボーイ」のタイトルのものが有名。

【ホフマンの舟歌】

フランスの作曲家ジャック・オッフェンバッハの4幕の正式なオペラ(オリジナルは5幕7場)。4幕で演奏されることが多い、ジュリエッタとの恋の場面で歌われるのが「ホフマンの舟歌」。

【干ルダウ】

『わが祖国』(Má Vlast)は、ベドルジハ・スメタナの代表的な作品で、1874年から1879年にかけて作曲された6つの交響詩から成る連作交響詩。

